

いしだ便り

第 26 号

2019年4月25日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会

収入 4,440 千円の内訳

単位：千円

科目	予算	内容
会費	155	500円×310世帯
交付金	2,494	伊達市自治組織活動支援
補助金	150	伊達市より防災及び婚活事業
助成金	50	石田合同所有林野管理会
繰入金	1,000	石田ふるさと振興会振興基金
繰越金	330	前年度より
雑入	261	お祝い、観光協会事業受託料

支出 4,440 千円の内訳

単位：千円

科目	予算	内容
総務広報費	140	広報誌の発行、ホームページ管理運営
環境防災費	260	石田の花植栽 180千円、防災啓発事業 80千円
健康福祉費	170	子育て支援「石田っ子」140千円、ウォーキング推進事業 30千円
地域活性化費	420	石田の宝探し及び カレンダー 140千円 婚活サポート 80千円、清掃登山 200千円
本部事業費	3,450	集落座談会 30千円、 ふるさと夏祭り 500千円 ヒガンバナ祭り 300千円（新規）いきいきクラブ 50千円、交流館管理運営 1,650千円 里山整美事業補助 300千円、 集会所改修事業補助 300千円、総会、事務費、予備費 320千円 ※太字は基金充当事業

地域課題対策を重点事業とし新たな取り組みを盛り込みました。

新年度の予算と計画案です。

新年度にあたって

事務局長 菅野直芳

昨年度実施いたしました多くの事業が、石田地区の皆さんのご協力により大過なくそして成功裏に実施できました。ひとえに地区の皆さんの高い意識によるところが大きいと事務局一同感謝申し上げます。

さて、新元号となる今年度は、新しい企画に挑戦することいたしました。石田地区が今までに数年にわたり実施してきたヒガンバナの植栽事業により、植えつけられた球根は十萬球を超え、お彼岸が近くなると、石田の各々の集落できれいな花を咲かせるまでになりました。さらに、ヒガンバナが咲き始めると県内外から写真を撮りにいらっしやる方が見受けられるようになってきました。このようなことから、9月に「ヒガンバナまつり」を実施することになりました。後日改めてお知らせ致します。皆様のご協力をお願いいたします。



彼岸花の風景が美しい岩崎地内

この人紹介します

赴任のご挨拶



石戸駐在所

山田 善則

この度の移動で石戸駐在所勤務となりました山田です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

伊達市のシンボルであり、東北の秀峰として名高い霊山の麓、歴史と伝統のある霊山町を受け持つ事となり、光栄に思うと同時に重責に身の引き締まる思いであります。

また、私自身駐在所勤務は初めての経験となりますが、皆様に寄り添い、課せられた使命を一つ一つ着実に果たし、安心して暮らせる街づくりのため、日々努力していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



感動の卒業式

一人だけの卒業証書授与式

三月二十二日石田小学校体育館で在校生十七名と教職員、数多くの来賓そして卒業生の両親、祖父母により執り行われました。校長先生からは失敗を恐れず挑戦すること。そして日々向上心を持ち夢に向かい前に進んでください。とはなむけの言葉があり、市長からも頑張る心と勇気を持ち一歩ずつ前に進んでください。未来に幸を多からんことを願っています。と励ましの祝辞がありました。また、PTAの他国際貢献、石田ふるさと振興会、交通安全協会石戸分会から記念品が贈呈されました。

圧巻は卒業生が母親に感謝の花束を渡す場面、また、別れの言葉では卒業生から在校生ひとりひとりに心を込めた言葉が送られ、最後に独唱で川嶋



卒業証書を受ける渡邊楓華さん

あい「旅立ちの日に」でラストとなりました。厳粛な中にも感動的で小規模校ならではのアットホームな卒業式でした。



母親への花束贈呈



在校生への言葉

今年度は三名が入学しました。

桜も開花し入学式が四月八日行われました。昨年は二名でしたが、今年は男子が二名、女子一名の三名でした。



総務広報委員会

新年度に入り新たに各地区の行政推進委員となられたの方々には、当委員会の委員として、ご協力をいただきます。既に行事やイベントなど実施されている事業もありますが、当委員会での単独行事計画は無く本部及び各委員会などの支援に力を注いでいます。今年度も各行事などへの支援に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ホームページを是非観てください、随時更新して居ります。皆さんからの地域の話題をお待ちしています。

健康福祉委員会

一月の石田っこクラブは凧作りと凧揚げ。お昼はお餅を食べました。

二月はポップアップカードを作り。お昼はサンドイッチとからあげ。

回を重ねるごとに参加人数が増え、「ぜひ続けて欲しい」との意見をたくさん頂けるようになりました。お手伝いの方や保護者の参加も増え、昔はあたりまえだった、地域みんなで子育ての環境が戻りつつあるかなと感じています。

五年間毎月開催ということが評価され霊山

地域自治組織連絡協議会で石田っこクラブの事業発表をさせていただきました。

楽しみにしている子供たちのため、今後もアイデアを絞り出し、スタッフ一同がんばります。

地域活性化委員会

域活性化の反省点としては、婚活活動です。委員の人達と話し合いをして。楽しく、面白く、おいしくを合言葉にして頑張って計画を立て進めてきました。石田からの参加者は一人もなくメンバー全員でがっかりしてしまいました。今年こそは、皆さんのご協力おねがいします。

石田の宝

今年は「石田の宝」の地図(マップ)作りを計画しています。お楽しみに。

環境防災委員会

前年度は河川道路脇の彼岸花植栽したところの草刈りまた、坂ノ上地区の植栽及び防災訓練などの行事に多数の方々参加を頂きありがとうございました。

今年度も前年同様の事業を実施する予定です。皆様のご協力よろしくお願いいたします。彼岸花の植栽は各行政区単位で管理ができる集落に植える予定です。

お知らせ

- 石田ふるさと振興会総会
五月十一日(土) 午後一時三十分より
石戸地区交流館ホールにて 終了後に落語があります。
- 事務室の休日が土曜日と火曜日でしたが、土曜日と月曜日に変わります。
- 石田小学校奉仕作業 五月十二日(日)
- 石田小学校運動会 五月十九日(日)



行政区便り



谷田岸行政区長

渡辺 恒夫

谷田岸行政区は、国の史跡名称及び県立自然公園に指定されている霊山の石田地区最初の集落になります。地区外の方が石田地区の住所を尋ねて足を止める起点でもあります。

現在二十二戸が居住し百歳の長老から昨年誕生した赤ちゃんまで生活を共にし、隣近所助け合いながら、春には道路愛護、集会所清掃その後にお花見。秋には収穫感謝祭。一月は総会と新年会そして二月に部落旅行会と皆で楽しく親睦を深める為のひと時を過ごしています。

昨今、どの行政区においても指摘されている「留守宅」の現状は、この集落も増えつつあります。これは他人事ではなく、それぞれの家庭の諸事情を鑑み今後も注視していくことを痛切に感じています。

近年地域住民の絆が希薄になりつつあると言われていますが、田んぼ畦道に腰をかけて老若男女が笑顔で話している環境がある以上、まだまだこの「地域の結びつき」は深いものであると思います。

会員の話題

今年の成人式石田のホープです。

一月十三日平成三十一年度伊達市成人式が市内五会場で開催されました。霊山町は中央交流館ホールにて式典が開催され、終了後ゲームなどの企画で旧交を温めていました。



左側から
渡邊賢太、菅野結斗、斎藤貴也、菅野祥加、
渡邊健太郎、菅野幸博さん

里山整美事業

今年度は地権者さんからの申請により当事業にて十四件面積約百五十アールほどの放置竹やぶの伐採と柿の木等数十本の立木を伐採処理をすることができました。実施後は明るくすっきりしますが、すぐまた竹は生い茂ってしまいます。柔らかいうちに切るなど処理すれば容易に食い止めることができます。

荒廃が進む中当
事業により「石
田はきれいだ」と
言ってもらえるよ
うになればと思っ
ています。



小石田西地内

編集後記

新しい元号「令和」には日本の美しさ、文化を大切にし和やかな時代また、厳しさを乗り越え花を咲かせる希望の時代の願いが込められています。今の状況にとってもあっていると思います。地域づくりも同じく。梅の花のように強い生命力と美しさのあるふるさとを目指したいと思います。